



吉根中学校開校式典に出席

4月に開校した吉根中学校の開校式典に全校生徒624名と地域の皆さん、関係者の方々と一緒に私も出席致しました。

日影の関係上、校舎を南側、校庭を北側にしたレイアウトになっており開放感あふれる校庭、暖かな陽射しが降り注ぐ中庭といった素晴らしい中学校になっています。

緞帳は二年生の生徒さんのデザインです。

また校歌も披露され、これから新しい歴史が刻まれていきます。



名古屋市会学童保育議連として要望活動に出席

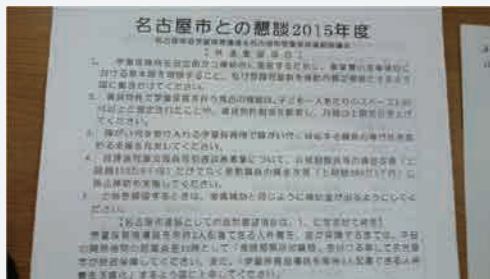


名古屋市会学童保育議連と名古屋市学童保育連絡協議会が一同に介して名古屋市に対して要望活動を行いました。

第一部では、学童保育施策や充実を求める要望項目に関する質疑が交わされ、第二部では要望書に関する意見交換があり、私も議連副会長として出席しました。

これからも子どもと親御さんが安心して学童に通えるような環境づくりのために前へと進めてまいります。

福祉、子育て、教育などを中心に市民の皆様が安心して未来に希望が持てることを実感できる施策の実現を強く要望いたしました。



平成28年度予算編成に対する要望書を河村市長に提出



私たちは地域に根を張る政党として、生活者の目線に立って地域や現場の声を聴き、約600項目にわたる要望書としてまとめ河村市長に提出いたしました。

福祉、子育て、教育などを中心に市民の皆様が安心して未来に希望が持てることを実感できる施策の実現を強く要望いたしました。

こんばのぶお

検索

市政に関する情報などを発信しています。
こんばのぶお公式ウェブサイト

<http://konba.net/>

<https://www.facebook.com/komeinagoya.komba>





守山区公職会として市長要望書を提出しました。

守山区の公職者は、守山区のさらなる発展を目指す課題として『重点要望事項』7項目と『要望事項』6項目の計13項目を取りまとめ10月23日に市長へ要望書を提出いたしました。

1 志段味地区の整備について

現在、志段味地区において進められている特定土地区画整理事業の状況をふまえ、志段味地区の総合的なまちづくりを行う観点から、各組合に対する積極的な支援とともに、特に以下の事項について早急に検討・整備を進めること。

- (1) 特定土地区画整理事業を積極的に促進すること。そのために、補助金の計画的、重点的な投入により、志段味田代町線、下志段味線など区画整理事業内の幹線道路及び幹線下水道の整備を早期に進めること。
また、区画整理事業の進捗状況、土地利用の変化などを勘案し、適時、適切な用途地域の見直しを行うこと。
- (2) 志段味地区を縦断する志段味線については、地区を象徴する自転車・歩行者専用道路であるため、志段味地区のイメージアップや魅力発信に繋がるような活用方法を検討すること。
- (3) 上志段味地区の中学校用地（保留地）について、取得が遅れることで特定土地区画整理事業の進捗に大きな支障を来すことを十分に認識し、早急に用地の取得を行うこと。
- (4) 志段味地区の整備にあわせた広域交流の活性化を図るため、上志段味水野線（瀬戸市）と接続する志段味水野線の整備を進めるとともに、下条線（春日井市）、霞ヶ丘線（尾張旭市）など隣接市との関連街路の整備促進を県に強く働きかけること。
また、庄内川に都市計画道路下条線（春日井市）と春日井吉根線を結ぶ橋梁を、及び北尾張中央道（春日井市）と上志段味線を結ぶ橋梁の整備に向けて、愛知県及び春日井市などと調整を行い、早期に事業化を図ること。
- (5) 守山パーキングエリアを利用したスマートインターチェンジについて、供用開始が当初予定より大幅に遅れたことで、地域や特定土地区画整理事業に与えた影響を鑑み、一日も早い供用開始に向け整備を確実に進めること。
- (6) 上志段味地区の「歴史の里」について、実施設計等に基づき古墳や緑地の整備を確実に進めること。
また、「志段味古墳群」として国史跡指定を受け、全国的な関心も高まっていることから、整備期間中においても見学者用の駐車場、休憩所やトイレを早急に設置するほか、バス路線の新設など当該地域へのアクセスの確保を行うこと。
- (7) 今後さらに整備が進み、人口増加が見込まれる志段味地区の利便性を向上させるために、次のように公共輸送機関を整備すること。
ア 守山区は名古屋市内で唯一地下鉄の恩恵を受けない区であることから、地下鉄に代わるガイドウェイバスの小幡緑地以東の高架化について、早期事業化の検討を進めること。
イ 市バス志段味巡回系統、ガイドウェイバスに係る運行経路・ダイヤ等について、地元の意見や地域の道路事情を十分にふまえた検証を行い、より一層の利便性の向上を図ること。また、「歴史の里」の整備にあわせ、特に大久手池周辺への路線の新設を行うこと。
- (8) なごやサイエンスパークについては、土地区画整理事業の進捗状況をも勘案しながら、研究開発機能の強化を図り、本市産業の高度化を図る拠点として引き続き整備を進めること。
特に、Bゾーン事業用地については、地元の意見も尊重しつつ、事業化に向け整備を進めること。
- (9) 品川白煉瓦工場跡地については、地域との連携、周辺との調和を図りながら定住促進住宅等整備を進めること。
- (10) 子どもの遊び場整備については、事業の都合上、宅地整備や道路整備に比べて公園整備が後回しとなっている。近隣にどんぐりひろば等の遊び場がなく、遊び盛りの子どもたちが道路上で遊ぶなど、安全に子育てをしていく上で重大な問題となっていることから、安全な遊び場の整備を進めること。

2 JR新守山駅及び駅周辺の開発整備について

昭和35年に策定されたJR新守山西駅前広場の計画を早期に見直し、駅西側の利便性の向上など、JRグループを始めとする関係者と調整して、現状に合った新たな整備計画を作成し、早期に事業化を図ること。

3 名鉄瀬戸線について

- (1) 名鉄瀬戸線による地域分断の解消、踏切事故の防止、南北交通の円滑化を図るため、小幡駅以東の部分について、大森・金城学院前駅東の法輪寺北付近までの高架化を早急に進めること。
- (2) 守山区民にとっては地下鉄の代替機能を有する名鉄瀬戸線の区間において、敬老パスの使用ができるように、市の負担による鉄道事業者との調整を積極的に図ること。

4 街路の整備に伴う公共交通機関の充実について

街路整備の進捗状況に応じた公共交通機関の充実を図るため、小幡ヶ原以東の山の手通線について市バス路線を新設すること。
また、守山巡回系統、守山11号系統について平安通駅を経由して大曾根駅までの延長を行うこと。

5 浸水・震災対策について

- (1) 守山区では、近年頻発している局地的豪雨や年々大型化する台風により大きな浸水被害を被っている。平成20年8月末豪雨では、特に区の西部（主に二城、鳥羽見、瀬古の各学区）で床上・床下浸水の被害が発生したが、この地域は、平成26年8月豪雨でも、短時間のうちにJR新守山駅北側のアンダーパスが水没し、周辺の道路が冠水するなどして同様の被害を被っている。また、平成23年9月の台風15号による豪雨では、庄内川及び庄内川に流入する河川・水路からの越水等により、特に志段味地区で床上・床下浸水の被害が発生した。このような被害が再び発生することのないよう、これらの地域を中心に、守山区内の浸水対策に万全を期すること。
- (2) 南海トラフ巨大地震が発生した場合、沿岸地域における津波被害のみならず、守山区ではがけ崩れ・液状化現象等による相当の被害を受ける恐れが高い。
このような被害の発生を抑制するよう、危険箇所を中心に、守山区内の震災対策に万全を期すること。

6 通学路の安全対策について

7 旧公設市場の有効活用について